

都道府県別将来推計人口

(平成4年10月推計)

金子武治・石川 晃・稲葉 寿・坂東里江子

1. 推計方法

(1) 推計方法

本推計は、平成2年国勢調査の男女・年齢(5歳階級)別人口を基準人口として、コーホート要因法によって平成22年まで行われたものである¹⁾。推計は都道府県別に行い、各都道府県の男女・年齢ごとの人口数の合計を別に推計されている全国将来推計人口²⁾のそれと一致するように調整してある。

(2) 男女・年齢別生残率の仮定

都道府県間死亡格差の動向を平均寿命の変化係数によってみると、男女とも年々低下している。すなわち、都道府県間死亡格差は縮小の傾向にある。また、年齢別生残率によってみても、ほとんどの年齢で、変化係数は低下している。したがって、年齢別生残率の都道府県間格差は現在拡大している一部の年齢も含めて、いずれは縮小すると考えられる。そこで、全国の将来人口推計の最終推計年次である平成37年まで平成2年における格差が半分まで直線的に減少すると仮定した。そして、仮定された相対的な格差を別途推計されている全国将来人口推計の男女・年齢別生残率の各期間の平均値にかけることにより、都道府県別、男女・年齢別生残率を求めた。

全国将来人口推計の生残率に依拠したのは、都道府県別推計人口の合計を全国の男女・年齢別人口数と一致するように調整するため、全国の仮定値とかけ離れた仮定値は使用しない方が都道府県ごとに設定された値と結果とのずれが少なくすむと考えられることによる。全国人口推計では、生残率は改善すると仮定しているので、各都道府県とも全国と同じように生残率は改善することになる。

(3) 女子の年齢別出生率の仮定

都道府県間出生力格差の動向を合計特殊出生率の変化係数によってみると、昭和50年から60年にかけては低下しているが、平成2年は昭和60年より上昇している。すなわち、縮小の傾向にあった都道府県間出生力格差が最近では拡大へと変化したことになる。また、年齢別出生率の都道府県間格差を昭和60年と平成2年について比較してみると、20歳代までは格差が拡大しており、30歳代以降は格差が縮小している。合計特殊出生率の格差は最近では拡大へと変化するが、一期間のみの拡大である。また、年齢別出生率についても、年齢によって傾向が異なり、将来、出生率がさらに拡大するか逆に縮小するかの判断はしにくい。一方、全国の合計特殊出生率と各都道府県のそれとの時系列変化の相関係数を計算すると、極めて高い値を得る。そこで、現在の全国と各都道府県との女子の年齢別出生率

1) 厚生省人口問題研究所、『都道府県別将来推計人口——平成2年～22年間毎5年——平成4年10月推計』、研究資料第275号、1992年10月。

2) 厚生省人口問題研究所、『日本の将来推計人口——平成3(1991)年～37(2025)年——平成4年9月推計』、研究資料第274号、1992年9月。

の格差は将来も維持されると仮定した。

そして、平成2年の相対的な格差を別途推計されている全国将来人口推計の女子の年齢別出生率の各期間の平均値にかけることにより、都道府県別、女子の年齢別出生率を求めた。全国将来人口推計の出生率に依拠したのは、生存率と同じ理由である。全国人口推計では、出生率は回復すると仮定しているのので、各都道府県とも全国と同じように出生率は回復することになる。

(4) 男女・年齢別純移動率の仮定

コーホート生存率法によって、昭和60～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率の推計を行った。推計された昭和60～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率と過去に推計された男女・年齢別純移動率を比較すると、年齢ごとの純移動率の水準の変化及び年齢パターンの変化に規則性が見いだせない県が多く、それぞれの県で将来どのように変化するかを見極めるのは困難である。また、人口移動はその時々のが国全体あるいは各都道府県の経済・社会的状況によって影響を受けるものであり、最近の傾向に単純に数学式を当てはめ、将来を仮定するものも適当ではないと考えられる。

そこで、昭和60～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率を基本とすることとした。

しかし、昭和60年以降のが国の地域別の人口移動の傾向は大きな変化をみせており、この状況を含んだ昭和60～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率が将来も継続するというのは適当ではないと思える。また、長期的にみても、府県間人口移動率あるいは大都市圏と非大都市圏の移動数は、減少の傾向であり、府県間人口移動は鎮静化していく方向にあると思える。

そこで、基本とするのは、昭和60～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率であるが、そのパターンは変化させずに、レベルだけは最近の府県間人口移動の動向を踏まえて、鎮静化する方向へ変化するように仮定を設定した。その方法は府県間移動率が4.11%となった昭和45年以降、平成3年までの数値に修正指数曲線を当てはめ、平成7年までの府県間移動率を補外推計し、昭和61～平成2年の府県間移動率の平均値と平成3～7年のそれとの比率を計算し、これを低下率とした。これは移動総数の低下率であるが、全年齢ともこの低下率が同じであると仮定し、昭和61～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率に適用することによって、平成17～22年までの各期間の男女・年齢別純移動率の仮定を設定した。つまり、各期間ともこの割合で純移動が低下すると仮定し、順次、都道府県別、男女・年齢別純移動率を設定した。

地域別の人口推計では人口移動が結果に大きく影響する。本推計では、仮定で述べたように昭和60～平成2年の純移動率を基本としているので、結果は最近の移動状況を反映したものとなっている。

参考として、昭和60～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率が将来変化しないとした場合、及び、男女・年齢別純移動率0による、つまり、封鎖人口で将来人口移動が全く起こらないとした場合を設定した推計も行った。いずれも前回試みたことである。

(5) 出生性比

近年の出生性比は、極めて変化が小さいことから、最近5年間の平均値を使用した。

2. 結果の概要

国勢調査の結果によると、昭和60～平成2年にかけて、18道県で人口は減少したが、推計結果によると、平成7年までには6都県増え、半分の24都道県で人口が減少する。さらに今世紀末の平成12年までには1県、平成22年までには5府県増え、30都道府県で人口が減少する。逆に平成22年まで一貫して増加する県は17県である。

北海道・東北地方では、東北の中核都市をもつ宮城県のみ、平成22年まで人口が増加する。福島県は平成7～12年にかけて減少に転じ、その他の県は現在までに引き続き人口が減少する。平成22年には、青森県と秋田県は現在よりも10%以上の減少を示す。

関東地方は、北関東の茨城県、栃木県、群馬県、東京周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県が平成22年まで増加を続ける。特に埼玉県の人口増加は大きく、39%も増加する。また、千葉県、神奈川県も大きく、現在よりも20%以上の増加を示す。首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の人口は、埼玉県、千葉県、神奈川県の人口増加が大きいことから、全体としては今後も増加し、一極集中は続くことになる。したがって、全人口に占める割合は、平成2年の25.7%から22年の28.7%へと3ポイント上昇することになる。しかし、人口増加率は年々低下して、昭和60～平成2年には約5%であるが、平成17～22年には3%台前半にまで低下する。

北陸地方は、平成2～7年から富山県、福井県の人口が減少に転じ、石川県の人口が平成17～22年にかけて減少に転じる。北陸地方全体では、平成2～7年から人口減少に転じることになる。

東山地方は、長野県は平成17～22年にかけて人口は減少に転じるが、山梨県は平成22年まで一貫して人口が増加する。また、東海地方は、愛知県、岐阜県、静岡県、三重県とも平成22年まで一貫して人口は増加する。

近畿地方は、和歌山県の人口は減少を続け、京都府と大阪府が平成17～22年にかけて人口減少に転じる。兵庫県、滋賀県、奈良県の人口は平成22年まで一貫して人口は増加する。特に、奈良県の人口増加は著しく、平成22年には現在よりも20%以上増加する。

中国地方は、平成22年までには全ての県で人口が減少することになる。特に、島根県、山口県の人口減少は著しく、現在より10%以上の減少を示す。中国地方としては、これまでも人口が減少していたが、今後も引き続き減少することになる。

四国地方は、香川県の人口は昭和60～平成2年にかけて増加していたが、今後は全ての県で人口が減少することになる。

九州地方は、九州の中核都市をもつ福岡県のみ平成22年まで一貫して人口は増加し、その他の県は人口が減少する。特に長崎県の人口は10%以上の減少を示す。九州全体としては平成2～7年にかけて減少に転じる。また沖縄県は平成22年まで一貫して人口は増加する。それも10%以上の大きな増加を示す。

次に、都道府県別に人口移動が全くないと仮定した場合の人口をみると、マイナス、すなわち、自然増加がマイナスとなる県が生じる。秋田県、島根県、高知県は平成2～7年から、東京都、富山県、和歌山県、山口県、徳島県、香川県が平成17～22年からマイナスとなる。島根県は平成12年以降プラスに転じる。また、昭和60～平成2年の都道府県別、男女・年齢別純移動率が将来も続くと仮定した場合と比較してみると、一定とした場合の方が人口が多くなるのは、宮城県、東京都を除く関東の各県、山梨県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県の13県である。

次に、都道府県別に高齢化がどの程度進行するかをみると、平成2年で最も65歳以上老年人口割合の高いのは島根県であり、18%と既に現在最も老年人口割合の高い国であるスウェーデンなみとなっているが、島根県も含め、各県とも高齢化は進み、平成12年には島根県が25%を超えるのをはじめ、20%を超える県が23とほぼ半分となる。平成22年には各県ともさらに高齢化が進み、39の県が20%を超える。25%を超え4人に1人は老年人口という県が12県も出現する。

65歳以上人口割合の上昇度の点から高齢化の進み方をみると、平成12年までは、青森県が8ポイントと最も上昇する。次いで、秋田県、北海道であるが、平成12年から22年までは、大阪府が6ポイントと最も上昇する。次いで、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の首都圏の各県、そして、愛知県の上昇度が大きくなる。つまり将来は現在若い県である大都市圏の高齢化の速度が早くなる。

15～64歳の生産年齢人口が何人の子供や老人を養っているかを示す従属人口指数は、今後、老年人口が増加することにより、各県とも上昇する。平成22年には70%を超え、1.4人でひとりの子供か老人を支えなくてはならない県が9県も生ずる。

表1 都道府県別将来推計人口：年齢別純移動率が縮小した場合

(1) 人口総数及び全国人口に占める割合

都道府県	人 口 (1,000 人)					割 合 (%)				
	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成2年 (1990)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)
全 国	123,611	125,463	127,385	129,346	130,397	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
北海道	5,644	5,569	5,492	5,416	5,306	4.6	4.4	4.3	4.2	4.1
青森	1,483	1,430	1,376	1,325	1,269	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0
岩手	1,417	1,390	1,361	1,334	1,300	1.1	1.1	1.1	1.0	1.0
宮城	2,249	2,299	2,345	2,393	2,428	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9
秋田	1,227	1,189	1,146	1,103	1,056	1.0	0.9	0.9	0.9	0.8
山形	1,258	1,240	1,218	1,196	1,168	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9
福島	2,104	2,105	2,103	2,101	2,090	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6
茨城	2,845	2,942	3,046	3,158	3,251	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5
栃木	1,935	1,988	2,047	2,110	2,159	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7
群馬	1,966	1,999	2,038	2,078	2,102	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
埼玉	6,405	6,962	7,595	8,270	8,886	5.2	5.5	6.0	6.4	6.8
千葉	5,555	5,958	6,407	6,874	7,288	4.5	4.7	5.0	5.3	5.6
東京都	11,856	11,829	11,688	11,500	11,230	9.6	9.4	9.2	8.9	8.6
神奈川県	7,980	8,526	9,080	9,616	10,061	6.5	6.8	7.1	7.4	7.7
新潟	2,475	2,451	2,427	2,405	2,371	2.0	2.0	1.9	1.9	1.8
富山	1,120	1,114	1,109	1,104	1,089	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8
石川	1,165	1,170	1,175	1,182	1,179	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
福山	824	823	823	823	816	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
山梨	853	866	881	896	904	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
長野	2,157	2,164	2,178	2,192	2,191	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7
岐阜	2,067	2,089	2,114	2,138	2,145	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6
静岡県	3,671	3,742	3,823	3,902	3,947	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
愛知	6,691	6,892	7,097	7,290	7,410	5.4	5.5	5.6	5.6	5.7
三重	1,793	1,824	1,858	1,891	1,909	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
滋賀	1,222	1,282	1,348	1,420	1,485	1.0	1.0	1.1	1.1	1.1
京都	2,602	2,611	2,614	2,619	2,607	2.1	2.1	2.1	2.0	2.0
大阪	8,735	8,765	8,788	8,796	8,720	7.1	7.0	6.9	6.8	6.7
兵庫	5,405	5,505	5,615	5,729	5,801	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4
奈良	1,375	1,434	1,496	1,562	1,619	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2
和歌山	1,074	1,056	1,039	1,022	998	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8
鳥取	616	609	603	597	589	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
島根	781	760	740	722	702	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5
岡山	1,926	1,921	1,919	1,921	1,909	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5
広島	2,850	2,863	2,884	2,907	2,906	2.3	2.3	2.3	2.2	2.2
山口	1,573	1,530	1,490	1,452	1,406	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
徳島	832	820	808	795	779	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
香川	1,023	1,015	1,008	1,003	990	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
愛媛	1,515	1,487	1,461	1,437	1,404	1.2	1.2	1.1	1.1	1.1
高知	825	803	782	762	738	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6
福岡	4,811	4,861	4,909	4,962	4,988	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8
佐賀	878	866	854	845	833	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6
長崎	1,563	1,519	1,477	1,439	1,398	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1
熊本	1,840	1,824	1,803	1,782	1,753	1.5	1.5	1.4	1.4	1.3
大分	1,237	1,212	1,187	1,163	1,134	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9
宮崎	1,169	1,148	1,128	1,111	1,091	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8
鹿児島	1,798	1,759	1,717	1,677	1,636	1.5	1.4	1.3	1.3	1.3
沖縄	1,222	1,253	1,290	1,326	1,354	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

表1 都道府県別将来推計人口：年齢別純移動率が縮小した場合

(2) 人口増加率及び指数

都道府県	人口増加率(%)				指数(平成2年=100.0)			
	平成2～7年 (1990～1995)	平成7～12年 (1995～2000)	平成12～17年 (2000～2005)	平成17～22年 (2005～2010)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)
全国	1.5	1.5	1.5	0.8	101.5	103.1	104.6	105.5
北海道	-1.3	-1.4	-1.4	-2.0	98.7	97.3	96.0	94.0
青森	-3.6	-3.7	-3.8	-4.2	96.4	92.8	89.3	85.6
岩手	-1.9	-2.0	-2.0	-2.5	98.1	96.1	94.1	91.7
宮城	2.2	2.0	2.0	1.5	102.2	104.3	106.4	108.0
秋田	-3.1	-3.6	-3.8	-4.3	96.9	93.4	89.9	86.0
山形	-1.4	-1.8	-1.8	-2.3	98.6	96.8	95.0	92.8
福島	0.1	-0.1	-0.1	-0.6	100.1	99.9	99.9	99.3
茨城	3.4	3.5	3.7	3.0	103.4	107.0	111.0	114.3
栃木	2.7	3.0	3.1	2.3	102.7	105.8	109.0	111.6
群馬	1.7	1.9	2.0	1.2	101.7	103.6	105.7	106.9
埼玉県	8.7	9.1	8.9	7.5	108.7	118.6	129.1	138.7
千葉県	7.2	7.5	7.3	6.0	107.2	115.3	123.7	131.2
東京都	-0.2	-1.2	-1.6	-2.3	99.8	98.6	97.0	94.7
神奈川県	6.8	6.5	5.9	4.6	106.8	113.8	120.5	126.1
新潟	-1.0	-1.0	-0.9	-1.4	99.0	98.1	97.2	95.8
富山	-0.6	-0.4	-0.5	-1.3	99.4	99.0	98.5	97.2
石川	0.4	0.5	0.5	-0.3	100.4	100.9	101.5	101.2
福井	-0.1	-0.0	-0.0	-0.8	99.9	99.9	99.9	99.1
山梨	1.6	1.7	1.7	1.0	101.6	103.3	105.0	106.0
長野	0.4	0.6	0.7	-0.0	100.4	101.0	101.7	101.6
岐阜	1.1	1.2	1.2	0.3	101.1	102.3	103.5	103.8
静岡県	1.9	2.2	2.1	1.2	101.9	104.1	106.3	107.5
愛知県	3.0	3.0	2.7	1.6	103.0	106.1	109.0	110.8
三重	1.7	1.9	1.8	0.9	101.7	103.7	105.5	106.5
滋賀	4.9	5.2	5.4	4.6	104.9	110.3	116.2	121.5
京都府	0.3	0.1	0.2	-0.5	100.3	100.4	100.7	100.2
大阪府	0.3	0.3	0.1	-0.9	100.3	100.6	100.7	99.8
兵庫県	1.9	2.0	2.0	1.2	101.9	103.9	106.0	107.3
奈良	4.2	4.3	4.4	3.6	104.2	108.7	113.6	117.7
和歌山	-1.7	-1.6	-1.6	-2.4	98.3	96.8	95.2	92.9
鳥取	-1.0	-1.1	-1.0	-1.3	99.0	97.9	96.9	95.7
島根	-2.7	-2.6	-2.4	-2.8	97.3	94.8	92.4	89.8
岡山	-0.3	-0.1	0.1	-0.6	99.7	99.7	99.7	99.1
広島	0.5	0.7	0.8	-0.0	100.5	101.2	102.0	102.0
山口	-2.7	-2.6	-2.5	-3.2	97.3	94.7	92.3	89.4
徳島	-1.4	-1.5	-1.5	-2.1	98.6	97.1	95.6	93.7
香川県	-0.8	-0.6	-0.6	-1.3	99.2	98.5	98.0	96.7
愛媛	-1.8	-1.7	-1.7	-2.3	98.2	96.4	94.8	92.7
高松	-2.7	-2.6	-2.6	-3.1	97.3	94.8	92.3	89.5
福岡	1.0	1.0	1.1	0.5	101.0	102.0	103.1	103.7
佐賀	-1.3	-1.4	-1.1	-1.4	98.7	97.3	96.2	94.9
長崎	-2.8	-2.8	-2.6	-2.9	97.2	94.5	92.1	89.4
熊本	-0.9	-1.2	-1.2	-1.6	99.1	98.0	96.8	95.3
大分	-2.0	-2.1	-2.0	-2.5	98.0	95.9	94.0	91.7
宮崎	-1.7	-1.8	-1.5	-1.8	98.3	96.5	95.1	93.4
鹿児島	-2.2	-2.4	-2.3	-2.5	97.8	95.5	93.3	91.0
沖縄	2.5	2.9	2.8	2.1	102.5	105.5	108.5	110.8

表2 都道府県別将来推計人口：年齢別純移動率一定とした場合
及び年齢別純移動率0とした場合

都道府県	純移動率一定				純移動率0			
	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)
全 国	125,463	127,385	129,346	130,397	125,463	127,385	129,346	130,397
北海道	5,560	5,468	5,374	5,241	5,716	5,781	5,845	5,869
	1,428	1,370	1,312	1,248	1,496	1,507	1,521	1,528
	1,388	1,357	1,325	1,286	1,428	1,437	1,450	1,458
	2,300	2,346	2,395	2,430	2,289	2,330	2,372	2,401
	1,188	1,142	1,095	1,042	1,226	1,219	1,214	1,204
山形県	1,240	1,216	1,191	1,159	1,263	1,264	1,268	1,268
	2,105	2,100	2,095	2,079	2,130	2,153	2,182	2,205
	2,942	3,047	3,163	3,261	2,890	2,939	2,996	3,039
	1,988	2,048	2,112	2,163	1,963	1,992	2,026	2,051
	1,999	2,038	2,079	2,103	1,993	2,021	2,053	2,074
埼玉県	6,973	7,636	8,363	9,053	6,569	6,754	6,938	7,061
	5,966	6,437	6,940	7,402	5,676	5,807	5,938	6,023
	11,818	11,653	11,426	11,107	12,031	12,187	12,295	12,282
	8,551	9,147	9,741	10,260	8,180	8,385	8,566	8,666
	2,448	2,419	2,391	2,348	2,492	2,506	2,527	2,539
富山県	1,113	1,108	1,102	1,085	1,124	1,129	1,134	1,131
	1,169	1,173	1,178	1,173	1,179	1,194	1,211	1,218
	823	822	820	812	833	841	852	857
	867	881	896	905	861	870	881	887
	2,164	2,177	2,190	2,186	2,174	2,191	2,213	2,225
岐阜県	2,089	2,113	2,136	2,141	2,095	2,126	2,159	2,174
	3,743	3,825	3,905	3,951	3,731	3,790	3,854	3,894
	6,894	7,100	7,295	7,415	6,857	7,034	7,204	7,303
	1,824	1,860	1,894	1,913	1,811	1,829	1,849	1,854
	1,283	1,351	1,428	1,499	1,248	1,277	1,309	1,333
東京都	2,610	2,611	2,611	2,592	2,637	2,681	2,727	2,749
	8,770	8,770	8,757	8,654	8,912	9,106	9,286	9,369
	5,506	5,616	5,732	5,804	5,487	5,577	5,671	5,722
	1,435	1,500	1,572	1,635	1,397	1,423	1,450	1,466
	1,055	1,036	1,016	989	1,076	1,077	1,079	1,074
千葉県	609	601	594	584	619	622	627	632
	760	738	718	695	780	780	783	784
	1,919	1,916	1,914	1,898	1,942	1,963	1,988	1,999
	2,862	2,881	2,901	2,896	2,888	2,929	2,974	2,997
	1,528	1,486	1,444	1,393	1,572	1,573	1,577	1,572
徳島県	820	807	793	775	833	834	836	833
	1,015	1,007	1,001	986	1,027	1,031	1,037	1,036
	1,486	1,458	1,430	1,393	1,522	1,528	1,537	1,539
	802	780	758	733	820	816	813	807
	4,861	4,909	4,960	4,983	4,877	4,948	5,025	5,074
佐賀県	866	852	840	826	885	894	907	918
	1,517	1,471	1,427	1,378	1,578	1,593	1,616	1,635
	1,823	1,800	1,775	1,742	1,856	1,869	1,886	1,896
	1,211	1,183	1,157	1,124	1,240	1,242	1,248	1,249
	1,148	1,125	1,106	1,081	1,180	1,190	1,205	1,218
鹿児島県	1,757	1,712	1,668	1,619	1,806	1,813	1,828	1,841
	1,254	1,290	1,325	1,353	1,274	1,331	1,389	1,443

表3 都道府県別、年齢（3区分）別人口割合：年齢別純移動率が縮小した場合

(1) 平成2（1990）年及び7（1995）年

(%)

都道府県	平成2（1990）年				平成7（1995）年			
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上
全 国	18.2	69.7	12.1	4.8	16.0	69.4	14.5	5.7
北海道	18.4	69.7	12.0	4.5	15.9	69.0	15.1	5.7
	19.5	67.5	12.9	5.0	16.9	66.5	16.6	6.3
	19.0	66.4	14.5	5.6	16.7	65.0	18.3	7.0
	19.6	68.5	11.9	4.5	17.1	68.2	14.7	5.4
	17.9	66.5	15.6	5.9	15.4	64.7	19.9	7.6
山形県	18.6	65.1	16.3	6.4	16.6	63.5	20.0	7.7
	20.1	65.6	14.3	5.5	17.8	64.5	17.6	6.7
	19.7	68.4	11.9	4.7	17.2	68.7	14.1	5.5
	19.7	68.0	12.3	4.7	17.2	68.2	14.6	5.6
福島県	18.7	68.2	13.0	5.2	16.4	68.1	15.6	6.1
埼玉県	18.7	73.0	8.3	3.2	16.3	73.8	9.9	3.7
	18.7	72.1	9.2	3.6	16.0	73.0	11.0	4.2
	14.7	74.7	10.6	4.2	12.8	74.4	12.8	5.0
	17.3	73.9	8.9	3.4	15.1	74.1	10.8	4.0
	18.7	66.0	15.3	6.2	16.4	65.1	18.5	7.5
富山県	17.5	67.4	15.1	6.3	15.1	66.8	18.1	7.5
	18.5	67.7	13.8	5.7	16.1	67.6	16.3	6.8
	18.9	66.2	14.8	6.2	17.0	65.3	17.7	7.2
	18.3	66.9	14.9	6.1	16.5	66.2	17.3	7.1
	18.2	65.7	16.1	6.6	16.2	64.7	19.2	7.8
岐阜県	18.8	68.5	12.7	5.1	16.5	68.1	15.4	6.0
	18.9	68.9	12.1	4.9	16.6	68.7	14.7	5.8
	18.5	71.7	9.8	3.9	16.4	71.8	11.9	4.5
	18.4	68.0	13.6	5.7	16.6	67.2	16.2	6.4
	20.4	67.5	12.1	5.0	18.3	67.6	14.1	5.6
東京都	17.3	70.1	12.6	5.5	15.1	70.1	14.8	6.2
	17.3	73.0	9.7	3.8	15.2	72.9	11.9	4.5
	18.4	69.7	11.9	4.9	16.4	69.3	14.3	5.6
	18.6	69.8	11.6	4.8	16.5	69.7	13.8	5.4
	18.0	66.7	15.3	6.4	16.1	65.5	18.4	7.4
千葉県	19.2	64.6	16.2	6.7	17.2	63.4	19.3	7.9
	18.4	63.4	18.2	7.7	16.5	61.7	21.9	9.2
	18.3	66.8	14.8	6.5	16.3	66.2	17.5	7.4
	18.5	68.1	13.4	5.5	16.3	67.8	15.9	6.5
	17.7	66.4	15.9	6.6	15.3	65.4	19.3	7.9
徳島県	18.0	66.4	15.6	6.5	16.0	65.1	18.9	7.5
	18.1	66.6	15.4	6.5	15.7	65.9	18.3	7.6
	18.6	66.1	15.4	6.4	16.3	65.0	18.7	7.5
	17.6	65.2	17.2	7.3	15.3	63.9	20.8	8.6
	19.0	68.6	12.5	5.1	16.6	68.4	15.0	5.9
香川県	20.2	64.6	15.2	6.4	18.1	63.9	17.9	7.3
	20.3	65.1	14.7	5.9	18.1	64.1	17.9	7.1
	19.3	65.2	15.5	6.5	17.3	64.1	18.6	7.7
	18.7	65.8	15.5	6.3	16.2	65.0	18.8	7.6
	20.5	65.2	14.3	5.7	17.8	64.5	17.7	7.1
高知県	19.9	63.5	16.6	6.8	17.9	62.2	19.9	8.1
	24.7	65.3	10.0	4.4	22.3	65.6	12.2	5.4

表3 都道府県別，年齢（3区分）別人口割合：年齢別純移動率が縮小した場合（つづき）
 (2) 平成12（2000）年及び22（2010）年

(%)

都道府県	平成12（2000）年				平成22（2010）年			
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	75歳以上	0～14歳	16～64歳	65歳以上	75歳以上
全 国	15.2	67.8	17.0	6.9	16.4	62.4	21.3	10.0
北海道	14.6	67.0	18.3	7.3	15.5	61.1	23.5	11.4
	15.0	64.3	20.6	8.2	14.8	59.1	26.1	13.4
	15.4	62.8	21.9	8.9	16.0	58.0	26.0	13.7
	15.7	67.1	17.2	6.8	16.9	62.8	20.3	10.1
	13.6	62.3	24.1	9.8	13.6	57.9	28.5	15.5
山形県	15.2	61.7	23.1	9.7	15.6	58.6	25.7	14.0
	16.4	63.3	20.4	8.5	16.9	60.2	22.8	12.1
	16.1	67.9	16.0	6.6	17.5	63.0	19.5	8.9
	16.1	67.4	16.5	6.7	17.2	63.6	19.2	9.1
	15.4	66.8	17.8	7.4	16.7	61.9	21.4	10.2
福島県	16.2	72.0	11.8	4.2	18.3	65.0	16.7	6.3
	15.4	71.5	13.2	4.9	17.2	64.7	18.1	7.3
	12.1	72.2	15.7	6.1	13.1	65.6	21.4	9.6
	14.8	72.2	13.0	4.8	16.3	65.9	17.8	7.4
	15.2	63.4	21.3	9.2	16.2	59.2	24.6	12.9
静岡県	14.2	65.0	20.8	9.0	15.0	60.1	24.9	12.5
	15.4	66.1	18.5	8.0	16.5	61.4	22.1	10.9
	16.0	63.8	20.2	8.6	16.5	60.3	23.2	12.0
	15.9	64.9	19.2	8.4	17.0	61.3	21.7	11.0
	15.5	63.0	21.4	9.5	16.9	58.9	24.2	12.7
岐阜県	15.6	66.4	18.0	7.2	16.4	61.4	22.3	10.6
	15.5	67.2	17.3	7.0	16.3	61.8	21.9	10.3
	15.8	70.0	14.3	5.4	16.7	63.9	19.4	8.2
	15.9	65.6	18.5	7.4	16.5	61.4	22.1	10.6
	17.7	66.6	15.7	6.4	19.3	62.4	18.3	8.5
東京都	14.6	68.2	17.2	7.2	16.4	61.6	22.0	10.2
	14.9	70.5	14.6	5.4	16.3	62.8	20.9	8.7
	15.8	67.4	16.8	6.6	17.3	61.6	21.1	9.7
	15.8	68.2	16.0	6.3	17.5	62.0	20.5	9.0
	15.2	63.6	21.3	9.0	15.7	58.9	25.4	12.8
千葉県	15.9	62.1	21.9	9.7	16.9	58.8	24.3	13.2
	15.3	59.5	25.2	11.4	16.5	55.8	27.7	15.8
	15.4	64.4	20.1	8.6	16.6	59.6	23.8	12.1
	15.6	66.2	18.2	7.8	16.8	60.9	22.3	10.8
	14.1	63.2	22.7	9.8	15.0	57.7	27.4	14.3
徳島県	14.8	63.3	21.9	9.1	15.4	59.6	25.0	13.3
	14.7	64.4	21.0	9.0	15.5	60.3	24.1	12.6
	15.1	63.3	21.6	9.3	15.7	58.9	25.4	13.3
	13.9	62.1	24.0	10.6	14.6	57.7	27.7	15.0
	15.4	67.1	17.5	7.2	16.8	62.0	21.2	10.4
香川県	16.8	62.8	20.4	8.8	17.6	59.5	22.9	12.1
	16.6	62.5	20.9	8.9	17.2	58.6	24.3	12.9
	15.8	62.7	21.5	9.4	16.1	59.3	24.6	13.3
	14.8	63.2	22.0	9.4	15.3	58.9	25.7	13.6
	16.0	63.1	20.9	8.8	16.5	59.0	24.5	13.1
兵庫県	16.3	60.9	22.8	10.0	16.9	58.1	25.0	13.8
	20.8	64.5	14.7	6.5	20.5	61.1	18.4	9.6